

日本史類名稱訓次編完

73
12

附架

名稱次編

玉



日本史類名稱訓次編

緒言

先年余童子此為に
名稱訓次著ハ〜
史ハ漢文小〜書れ
大是神の御名地名
等々ハ紀乃書法よ
〜〜〜必々古語
讀〜〜〜
多の物〜〜
〜〜〜知

日本史類名稱訓次編

先年余童子此為に

名稱訓次著ハ〜

史ハ漢文小〜書れ

大は神の御名地名

字をハ紀乃書法よ

〜必古語り

讀る〜を此せられ

多る物あるとざる

〜もた〜知

一
延徳只文字にの
きかきく讀申き
うもま能人
いふ如くきくに聞
まのせに多うは
うやうな苦之今ハ
やうく世よきれ
成行多の古言の
く可惜く
をきく名ふきよひ
傳へさせほく

一小冊を著ハ
幸ふ世は行ふ
次編なりしむら
多うり余う
上よくめ如く古語
此あききに物
しつるあれを紀
後乃のよハ
讀むのしき名稱も
あきと思ふは
持統天皇の御卷

あり筆を止はる哉
 かな人らをもやめれ
 黙止うらうて九月に
 望まのつる筆とり
 初つまを何ら此と
 いまよ無よ老のま此
 うまはへ立そむつと
 怠らちに過行をいつに
 くまのつるのまらか
 わいされいさのは
 書きしなる草稿を

江刺恒久めし打
 申と福了是ハかく
 う此を云々といふ
 ういあつらん
 霜月うまをいつと
 余う思ふむ福と露
 昔のつんかく書つ
 産此あつと嬉し
 久し其まあつと海を
 先し置まらん
 前編のまらめら

云々如く地名と
 諸物品の名稱の中
 めも甚きものあり
 類
 此博士達
 疑を以て今を
 群藉に弘く考へ
 未詳なるものあり
 少くも

此冊子

嵯峨天皇の御巻よ
 皇正統記のい
 如く此御時
 何れも今世の
 成る世の中
 なる時
 前編ハ紀古殿本
 通證古事記等によ

りて大く讀つる者
 文武天皇以下此の
 ぬち據とまへしは
 ぬく村尾氏の續紀
 考證のころとるし
 雖此書名稱よりさ
 ころ心さつきうれ
 ころしと見え旁
 訓を施さば故小唯
 證を取一助とみ
 して其他故人の考

説ふころころし
 従ひ難きを此ハ
 にかつてあつたあ
 ぬりも有し見る人
 ころし擇少
 ら此冊子霜月書畢
 ぬきと次のやま
 正月の未まを猶校
 正しつるころし
 謬なるころし
 かりぬきとるころ

あゝん前編のり
思の外ある誤り
了人ふくは付られ
たるのあ致をくは
つひてりあつ改
めんくは明治五年
正月

伊能穎則識

既板本とがうて書
世人のあつてあ
名稱訓とあ一巻ハ
伊能穎の著されり
りはあつて此篇
筆ハとれはきと元
書はとれはきと元
まはあつて物と
よとあ深せたる其意
とああつてあ
ハのほつて抄

出されと元来芳き
 身のかつと東京よ
 在る旅中の為業
 されハ筆の尻久
 て熟考多俾知やも
 あく河されいこ
 行くそ人の俾をか
 されを載漏したるを
 あくんうそを世人
 補ひてよのさ
 此後篇中の人

てのゆゑよき
 彼前篇く申つて
 今ハ志るさしされ
 ちし俾そく心り
 すしのせうとら至
 明治四年十二月陸
 中国岩手郡人

江刺恒久

凡例

この冊子に史とつゝあ

大日本史、紀、室、つゝあ

日本書紀、續紀とつゝあ

續日本紀、記とつゝあ

古事記、後紀とつゝあ

日本後紀、逸史とつゝあ

を梨木三位乃日本

逸史類聚とつゝあ類

聚國史、あつゝあ他ハ

全く書名を擧ぐ

通證ハ谷川氏の書紀通

證考證ハ村尾元融の續

日本紀考證本居翁とい

ふハ鈴屋本居宣長翁小

中村氏ミヅノ小中村清

矩村田氏ハ村田春海伊

藤氏ハ伊藤長胤東涯翁

也其他ハ全く姓名を掲ぐ

前編漆部左訓ウレシヘト

セ〜非あり今此訓

ハ因ル

日本史類名稱訓次編

本紀

文武天皇

○珂瑠カール統紀注
輕皇子 ○岡宮オカミヤ

天皇草壁スメラミコトクサカバ ○多治比タチヒノマヒト

嶋シマ統紀多治比
真人志麻 ○藤原宮フチハラノミヤ

子娘コノイメタメ ○紀竈娘キソノメ統紀共
作藤原

朝臣宮子娘イシカクノミヤノシメ ○石川刀子イシカクノミヤノシメ

娘イメタメ統紀石川朝臣イシカクノミヤノシメ刀子統紀訓
ト木和名抄刀賀太奈小中

村氏云堀正意遺統紀古
本刀子訓トシ今從之 ○

大極殿ダイコクテム 和名抄云朝堂院
正殿名也拾芥抄

抄左訓據本居翁玉勝間說
云八省院是也右音依名目

○文博士フミイニキカセ 統紀文忌寸持
統紀作博勢

○刑部真木オサカバノマキ ○水分ミヅノ

峯神ミオノカミ ○大野オホノ ○基肆キイ

○鞠智ククチ 和名抄 久久知 ○當耆タギノ

皇女ヒメミコ ○周芳スハク 今周防 ○多タ

氣大神宮クノオホカミノミヤ ○度合郡ワタラヒノコホリ

會今度 ○錦部郡ニシゴロノコホリ ○役小ニキヒラ

角ツノ 統紀 役君 ○多タ 櫛ネ 今種鳴 ○夜ヤ

久ク 今夜鳴 ○菴美アマミ 今大鳴村尾
氏考證云天

武紀阿麻弥南嶋志云大嶋云々琉
球北海也今按檢南嶋志北海當作

北界 ○度感ト 書紀通證云今
所謂麻加羅嶋也

中山記作土噶刺近于琉球考證
云謂德嶋舊作度九嶋國史所謂

度感嶋在永良部北而東北接大
海小中村氏云考證南嶋志之文也

接大海志作接天嶋是感異音
コム然則度感則德非別名也 ○

越智ヲチ ○山科ヤマシナ ○衣縫キヌヌヒ

王ミコ ○當麻國見タキマノミ 統紀當
麻真人

○大石王オホシノミコ ○粟田真アハタノマコ

人ヒト 統紀粟田朝臣 ○三野ミノ ○稻イナ

積シキ ○佐伯麻呂サヘキノスネマロ 統紀佐
伯宿祢

○佐味賀佐麻呂サミノカサマロ 統紀

佐味朝臣 ○竺志總領今統 ○

薩未今薩摩 ○肝衛キモツキ ○刑ナガシ

部親王カバノミ 考證云親王之号天武天皇之時定焉而

稱某親王昉於此矣 ○宇尼ウネ

備ヒ 萬葉集萬葉集 ○賀久山カクヤマ 萬葉

具山具山 ○成會ナリノヒ 諸陵式諸陵式 ○阿ア

部御主人アツミ 統紀阿部朝臣統紀阿部朝臣 ○

之說々詳於竹取物語解 ○大伴御行オホトモノミヤコ

統紀大伴宿祢 ○船棹勝フネノカサ 統紀船連船連 ○

漆部道麻呂ウシロ 統紀漆部造漆部造 ○

大安殿 ○高橋笠間タカハシノカサマ

統紀高橋朝臣 ○坂合部大分サカヒノフクネオホキダ

統紀坂合部宿祢統紀坂合部宿祢 ○推古紀天武紀並作境部 ○下オロシ

物職モノツカサ 持統紀監物持統紀監物 即是 ○泉内イヅミノウチ

親王ミコ 內親王始見於此訓依舊 ○凡海オホシマノウミ

麤鎌アラカマ 統紀凡海宿祢 ○下毛野シモツケノ

古麻呂アノミコ 統紀下毛野朝臣 ○田タ

領ゾカヒ 左之訓據天武紀右之訓從欽明紀 ○道ミチ

首名オヒトナ 統紀道君 ○内舍人ウチノネリ ○

藤原不比等フチハラノヒト 統紀藤原朝臣 ○

武漏温泉 ○依樣ヨロシ ○

歌斐カヒ 今甲 ○二槻離宮フタツキノリキヤ

○ハナノミヤヒロハ茶廣庭統紀○ヒ枉統紀

○ラギノヤヒロ谷樹八尋ホコネ○オホ大統紀

○トモノスクネヤスマロ伴安麻呂統紀大○タカ高伴宿祢

○タノアソミマロ向麻呂統紀高○ヲノアソミ小野向朝臣

○ケ毛野統紀小○ハヤヒトノクニ唱更國野朝臣

今薩摩考證云當訓ハヤヒト史記正義踐更若今唱更行

更者也古謂隼人為唱更義取諸此云本居翁云薩摩在

古隸日向國總稱曰隼人國云萬葉隼人之薩摩之炮戶

○キ岐蘇フヂハラアソミフサキ○フサキ藤原房前統紀藤

○タヂヒノマヒト多治比三宅原朝臣

○マ麻呂統紀多治○タカ高向比真人

○オホタル大足統紀高○ハタマヒト波多余向朝臣

○ホツ穗積老統紀射統紀波

○ヲノアソミ小野馬養統紀小○ヲノアソミ野朝臣

○オホトモノ大伴大沼田統紀大○オホトモノ伴宿祢

○イキノムラ伊吉博德統紀伊○イ石吉連

○ハタノミトヒロタリ波多廣足統紀波○イソノ石多真人

○カミラソミ上麻呂統紀石○ハタノミ幡文上朝臣

○トホル通統紀幡文○シクミ倉橋通賜造姓

○ミヤ宮統紀○オホカバノ忍壁親王萬葉集

○ササ狹嶺統紀○ミタラシキヨ美弩淨部親

○マ麻呂統紀美○ヒノタレノ日並知弩連

皇子尊ミコノミコト 當時皇太子之トキトキノミコト 〇ヲ
稱訓依萬葉集

倭根子天之真宗豐ヤマトネコノアメノマムネトヨ

祖父天皇オホヂノスメラミコト 〇飛鳥岡アマカノラカ

〇檜隈安古山陵ヒノクママコヤマノミササキ

元明天皇

〇阿閉アバ 〇姪娘セノイラシメ 〇授タテ

刀舍人ヤキノトネリ 〇施基親王シキノミコ

〇菅原スガハラ 〇平城ナハラ 〇山ヤマ

背岡田離宮セノノラカタノトツミヤ 〇巨勢コノノアノミ

麻呂マロ 〇佐伯石サヘキノスネノハ

湯ユ 〇紀諸人キノアソノヒモロト 〇紀統キノト

臣キ 〇日向隼人曾君ヒムカノハヤヒトソノキミ

細麻呂ホシマロ 〇石上豐麻イソノカミノアノミトコマ

呂ロ 〇紀男キノオノ 〇紀統キノト

臣キ 〇粟田必登アハタノアノヒト 〇紀統キノト

〇丹波千足タニハシノヒトチタル 〇紀統キノト

高見烽タカミノヒ 〇春日烽カスカノトノヒ 〇

太安麻呂オホノアソノミヤマロ 〇古事記序コトコトノキノマタハ

鷹居社タカノイノヤシロ 〇甕原離宮ミカンハラノトツミヤ

光仁紀作ミツネノキノサキ 〇銅鐸カネノカ 〇古語拾コトコトノヒ

遺ツグ 〇長親王ナガノミコ 〇舍人トネリ

親王ニトクハノミコ○新田部親王ニトクハノミコ

○長屋王ナガヤノミコ○紀清人キノシロノキヨヒト

統紀紀トウキキ○三宅藤麻呂ミヤケノフヂマロ

統紀三宅臣類聚トウキミヤケノミコトノルビ○信覺シノトク

球美タマキ未詳ミゼツ○麤玉河コラタマカハ○

氷高内親王ヒタカノヒメミコ○藏寶サホ

山雍良岑ヤマノヨラノイネ○推山陵オホヤマノミヤ

廟陵記云推疑ミヤノミヤノキニヨリニシテ○日本根ヤマトノネ

猶之誤訓ナホナホノミヤダシ子天津御代豐國成ツクナヒノミコトヨクニナリ

姫天皇ヒメノミカド

元正天皇

○氷高ヒタカ○新家ニヘノイ錄キ○

志貴親王シキノミコ○多治比タヂヒ

縣守アガタモリ統紀多治比真人トウキタヂヒノマコト○阿部アベノアツミ

安麻呂ヤスマロ統紀阿部朝臣トウキアベノミコトノミコ○藤原フジウラ

馬養ウマカヒ統紀藤原朝臣トウキフジウラノミコトノミコ○大オホ

伴山守トモノクネノヤマモリ統紀大伴宿祢トウキオホトモノスネ○置賜オキタマヒ

○竹原井頭宮タカハラノイノカミノミヤ○久ク

勢女王セノメノミコ○當耆郡多タケキノコホリノタ

度山トノヤマ○石城國イハキノクニ○石イシ

背國セノクニ小中村氏云當訓イハセト此國在岩瀨郡依名之而

統紀旁訓イハシロ蓋
○白猪シヤクノクニ

據山背之例者非也
廣成ヒロナリ統紀白猪史
○韃鞨國マカソノクニ

○陽侯麻呂ヤコノノヒトマロ統紀陽侯史

大伴旅人オホトモノスナネヒト統紀大伴宿祢
○笠カサ

御室ミモロ統紀笠朝臣
○巨勢真コセノマコト

人ヒト統紀巨勢朝臣
○上毛野廣カミツケノノアツミヒロ

人ヒト統紀上毛野朝臣
○下毛野石シモツケノスツアツミ

代シヨ統紀下毛野朝臣
○阿倍駿河アハノアツミスルガ

倍朝臣ヒトノチ統紀阿倍朝臣
○諷方國フウカタクニ○井イ

上女王ウヘノヒメ○譯語人ワカヒト

津生沼麻呂ツノフヒトスヌマロ統紀津史生一作主紀畧

作主治ヤマト○日本根子高ニホネタカ

瑞淨足姬天皇ミツキヨタラシヒメノスメラミコト○佐サ

保山陵ホヤマノミササキ○奈保山陵ナホヤマノミササキ

聖武天皇

○佐伯兒屋麻呂サヘキノスネコヤマロ統紀統

佐伯宿祢サヘノヤシ○藤原宇合フヂハラノウミカヒ統紀藤原朝臣

訓從村田春海說ムツミタノハルウミ前紀馬養同人
○高橋安タカハシノアサヒ

麻呂マロ統紀高橋朝臣
○小野牛コノウシ

養カヒ統紀小野朝臣
○土師豐麻ヒシノスクネトヨマ

呂ロ統紀土師朝臣
○五垣勾頻イマガキノマカリノカリ

宮 ○玉津嶋頓宮 ○

弱濱為明光浦 弱訓カカ 明光訓

所石 アカワ與ア音相通改 字不改稱乎此類多

頓宮 考證云所當依永正本 作取和泉志蹟在和泉

郡舞村舊屬大鳥郡萬葉集

第十妹手平取石池之云々則

是今訓 ○石成 考證云天 平神護丸

從之 年紀近衛別君蘭守等賜姓吉 備石成宿祢和名抄備前國有

磐梨郡石生郷蓋因地命姓者

也云々按古事記有吉備石无別

梨无共當訓ナシ和名抄 ○

訓イハナス者恐訛 ○

玉未 谷川氏云葉音未和名 之波芝亦訓之波見萬

葉集蓋古通用則玉未玉芝也

伊藤氏引事文類聚未宜和間

十七字詩以證玉未為靈芝一

名予檢類聚玉作下異本或作

王亦誤謬尔伴氏曰王未疑玉

英見治部式未英因字體近似

而為也諸 ○印南野 ○

說非是 ○

邑見頓宮 統紀无依 ○

葛木 ○渤海郡大武

藝 音 ○引田蟲麻呂

統紀引 カヒノアタマレコムシ ○賀茂子蟲 統紀

田朝臣 賀茂 ○吉田宜 統紀吉

縣主 ○大津首 統紀大 ○粟

田馬養 統紀粟 ○播磨

乙安 統紀播 ○防人 ○

庭火御竈ニハヒノミカマ○阿氏郡アテノコホリ

今在オホトモノスクホミチナリ○大伴道足オホトモノミチタリ統統

田郡カトバノオホキミ○門部王カトバノオホキミ○角ツグ

大伴オホトモ宿称宿称○多治比タヂヒ

家主アミヤカシ統統紀角紀角○多治比タヂヒ

廣成ヒロナリ統統紀多治紀多治○狭山テヤマ

下池シタノイケ○藤原武智麻フチハラノアソミムチマ

呂ロ統統紀藤原朝臣内藤氏廣前統紀藤原朝臣内藤氏廣前

大原之弟義取茂榮故名大原之弟義取茂榮故名○歌ウタ

馬標之當訓ムチマロー馬標之當訓ムチマロー

垣カキ○諸王真人オホミマヒト○土ツチ

師宿禰シノスクネ○阿倍繼麻アヒノアツミツクマ

呂ロ統統紀阿倍朝臣統紀阿倍朝臣○男勝村ヲカツノムラ○

鈴鹿王スツカノオホキミ○大養德國オホヤマトノクニ

○阿倍内親王アヒノヒメミコ○橘キハチ

諸兄スシノモロエ統統紀橘統紀橘○大伴犬オホトモノイヌ

養カヒ統統紀大伴宿称統紀大伴宿称○紀必登キナフシヒト統統

紀朝臣キチノチノミ○相樂別業サガラノナリトコロ○藤フジ

原廣嗣フシノヒロツグ統統紀藤原朝臣統紀藤原朝臣○大野オホノ

東人アジマト統統紀大野朝臣統紀大野朝臣○紀飯麻キノアツミイヒ

呂ロ統統紀朝臣統紀朝臣○三原王ミハラノオホキミ○

關宮セキノミヤ○大井王オホイノオホキミ○和ワ

遲野ヲシノ○赤坂頓宮アカサカノカリミヤ○

當伎郡タキノコホリ○宮處寺ミヤコノテラ○

曳常泉ヒキソノイソノ考證ヨカバ ○横川ヨカバ

頓宮カリンヤ ○山背相樂郡ヤマシロノサガラノヨホリ

恭仁鄉クニノサト ○志賀山寺シガヤマノテラ

○玉井頓宮タマヰノカリミヤ ○鶴オホトリ和名抄

○智努王チヌノオホキミ ○藤原仲フヂハラノミナカ

麻呂マロ 統紀藤原朝臣 ○賀世山カセヤマ

○宇治ウヂ ○大養德恭オホヤマトク

仁大宮ニオホミヤ ○四阿殿シヅマヤ ○

越智山陵チチノミサキ ○紫香樂シカラキ

○石原宮イシハラノミヤ ○刺松原サシノマツハラ

○鹽燒王シホヤキノオホキミ ○三嶋ミシマ ○

藤原豐成フヂハラフヤシトヨナリ 統紀藤原朝臣 ○腹ハラ

赤魚アカウラ ○石川加美イシカハシノミカミ 統紀

石川朝臣 ○大伴百世オホトモノモトヨ 統紀大伴宿祢

○巨勢奈氏麻呂コセノナシマロ 統紀

巨勢朝臣 ○安積親王アサカノミコ 史注云 紹運錄

別載淺香皇子按安積淺香國語相同誤為二人云々今從之訓

○珍努チヌ 智努同 ○真木山マキヤマ

○大伴牛養オホトモノウシカヒ 統紀大伴宿祢 ○

紀麻呂キマロ 統紀朝臣 ○縣女アガタノヒメ

王 ○鐵利テツリ 考證云續文獻通考鐵

遼大祖之時リョウダイソノトキ ○葛井廣成カヰノヒロナリ

來貢云々キライノクニニ 廣成

統紀葛 并連 ○天璽國押開
豐櫻彦尊

孝謙天皇

○紫微令音 ○小宅音

女王 ○紫微中臺音

○大郡宮 ○宇佐八

幡神 ○梨原新殿 ○

播原東人統紀播 ○藤

原清河如藤原氏著姓其加

注以下 ○大伴古麻呂

如謂藤原氏之 下以下倣之 ○石川年

足統紀石 ○吉備真備

統紀吉備朝臣類聚國 史作真吉備訓從為 ○田

村第 ○金恭廉音 ○

小野田守統紀小 ○小

野老同 ○高橋牛養

統紀高橋連 ○池田王 ○紀

小指統紀紀 ○石川豐

成統紀石 ○藤原武良

志 ○大伴家持 ○阿

倍毛人統紀阿 ○多治

比木人マヒトキヒト 統紀多治 比真人ヒマシロ ○行信

音 〇八幡主神ヤハタノカムツカサ 〇大オホ

神多麻呂ミワノマシメタマロ 統紀大 神朝臣カミムラノミ 〇大

神社女ミワノメノメ 上 〇道祖王ミチノサネノミ

訓據本居翁說說 〇怡土イイト

見歷朝詔詞解 〇大炊王オホキキ 〇桃生モモフ

城キ 〇小勝フカツ 〇紫微内相

〇橋奈良麻呂ハシナラマロ 統紀

橘朝臣キツノミ 〇黄文王オウモン 〇安宿アヌカ

王オホキ 訓如謂道 〇多治比タヂヒ

續養ウシカヒ 統紀多治 比真人ヒマシロ 〇小野コノ

東人アヅマノヒト 前出 〇加茂角足カモノツヌダリ

〇佐伯大成サヘキスサネオホナリ 統紀佐伯サヘキ

大伴古慈斐オホトモコジヒ 〇出羽イテハ

柵戸サシド 〇益頭郡ヤキヅノコホリ 〇山ヤマ

階寺シテテラ 〇金刺舎人カナサシノトネリ 〇膏マシ

統紀又作麻自 〇藤原辨フヂハラノ

二字按曆之謫 〇藤原辨フヂハラノ

按辨上脱淨字統紀 〇紀廣キヨヒロ

一作淨並訓未詳 〇大伴潔足オホトモケキヨ

純スミ 統紀紀 〇大伴潔足オホトモケキヨ

阿倍廣人アヒノヒロヒト 〇藤原楓フヂハラノキ

麻呂マロ

廢帝

○當麻氏タケノ ○藤原永フジノ

手テ ○文室珍努フムヤノヒト 統紀文
室真人

○藤原薩雄フジノ ○船王フネノ

○上臺寶字ウヘノ 彌德孝

謙皇帝ケン 音 ○中臺天

平應真仁正皇太后

音 ○勝寶感神聖武

皇帝テイ 音 ○岡宮御宇オカノミヤノミコト

天皇テンノウ ○山於女王ヤマノミコ ○

乾政官 ○大師 ○大

夫 ○紫微中臺 ○坤

官官 ○大尉 乾政官以下
至大尉音

○惠美押勝エミノオシカツ ○崇道

盡敬皇帝キンケイ 音 ○香椎カシヒラ

廟 ○保良宮ホライノミヤ ○石川イソカハノミヤ

公成キミナリ 統紀石川朝臣
公成一作公人 ○石

上奧繼カミノクニノオキツ 統紀石
上朝臣 ○淡海アワノミ

三船ミフネ 統紀淡
海真人 ○布勢人フセノヒト

主ヌシ 統紀布
勢朝臣 ○馬夷麻呂ウマノヒト

統紀 ○小治田宮コハリノミヤ ○

馬史ウマノシ

岡本宮ヲカモトノミヤ○茅原王チハラノオホキミ○

日置真卯ヒキノニキツヨマウ○統紀日置造○荒アラ

玉河タマガハ○藤原御指フヂハラノミササ出前

○仲石ナカノイシ伴トモ○統紀仲真人○石イシ

上宅カミノウチ嗣トシ○統紀石上朝臣○藤原フヂハラ

惠美朝エミノアサヒ獵リ○統紀惠美朝臣○百ヒヤク

濟敬福サイケイフク○統紀百濟王敬福音読○藤フヂ

原惠美訓ハラエミノノリ儒麻呂ニウマロ○

中臣ナカトミ淨麻呂ニヨシマロ○統紀中臣朝臣○

伊吉益イキヨシ麻呂マロ○統紀伊吉連○

文室フムシム淨三ニヨシサミ○統紀文室真人○藤フヂ

原巨勢ハラキセ麻呂マロ○僧道ソウダウ

鏡カガミ音ネ○土師ヒシ嶋村シマムラ○統紀

土師ヒシ宿祢スクネ○統紀水上ミヅノ鹽燒シホヤキ○統紀

氷上ヒナメ真人マヒト○和氣ワケ王オホキミ○山ヤマ

村王ムラノオホキミ○佐伯サヘ助タサケ○統紀佐伯宿祢

○三方ミカタ王オホキミ

稱德天皇

○粟田アハダ道麻呂ミチマロ○統紀粟田朝臣

○大津オホツ大浦オホウラ○統紀大津宿祢

石川イシカハ永年ニギハヤヒ○統紀石川朝臣○石イシ

上志斐氏カミシノヒ ○隈スミ
統紀石
上朝臣

寺毗沙門テラノビ ○飽浪宮アクラノミヤ

○伊治城イチノキ ○飛鳥部アスカバ

吉士五百國キシイホクニ ○毛野ケノ

川カハ ○不破内親王フナノヒメノミコ ○

氷上志計志麻呂ヒカミマエトシナシマロ ○
統紀

氷上ヒカミ ○和氣清麻呂ワケノアツムキヨマロ

真人マコト ○
統紀天平神護三年詔曰輔治能真人清麻呂云々姓方取豆別部止成給云々後紀延曆十八年二月云々和氣朝臣清麻呂薨水

姓磐梨別公後改姓藤野和氣真人寶龜五年賜姓朝臣史於

列傳詳為今

○由義宮ユギノミヤ ○
為童蒙注

疫神エビカミ ○藤原繼繩フヂノラノツグナハ ○

若狹彦神ワカサヘノカミ ○氣比神ケヒノカミ

○氣多神ケタノカミ ○伊刀王イトノオホキミ

○白壁王シラカベノオホキミ ○添上郡ソフノカミノコホリ

佐貴鄉サキノサト ○高野山陵タカノミサキ

○高野天皇タカノノスメラミコト

光仁天皇

○白壁シラカベ ○春日宮カヌサノミヤ ○天アマ

皇施基ミコトシキ ○藤原宿奈フヂノラノアツノスクナ

麻呂マロ ○藤原繩麻呂フヂノラノアツノツナマロ

○弓削淨人ユゲノキヨヒト ○他戸オホカドノ

親王ミコノミ ○藤原良繼フヂハラフクシヨシツグ ○

藤原魚名フヂハラフナナ ○丹生川ニフノカハ

上神カミノカミ ○齋宮イツキノミヤ ○大中オホナカ

臣清麻呂トミノアソミキヨマロ 統紀太中トウキタイチュウ 臣朝臣ミムロミ ○藤フヂ

原百川ハラフツノモトカハ 史注云亦名シシュウニモナ ○難ナニ

波内親王ハチノミコ ○月讀神ツクヨミノカミ

○荒祭神アラマツリノカミ ○豐後速トヨシニノチノシ

見郡ミヤノコホリ ○肥後葦北郡ヒノクテノアシノキタノコホリ

八代郡ヤツシロノコホリ ○酒入内親サカヒトノミ

王コ ○山背水雄岡ヤマシロノミツノヲノヲカ 考證コウジ

云山城志葛野郡クモノシマシマノコホリ ○山部ヤマノベ
有氷尾村蓋此地

親王ミコ ○乙訓社オトクニヤシロ 考證コウジ
乙訓郡

火雷神ヒカゲノカミ ○大伴駿河麻オホトモノスナガマ
是也

呂ロ ○揚梅宮ヤマモメノミヤ ○新城ニヒキノ

宮ミヤ 考證大和志跡在コウジ大和志跡在 ○坂サカ
添下郡新木村

合部内親王ヒツノミコ ○渡會ワタラヒ

郡コホリ ○田村故宮タムラノフルキミヤ 統紀作トウキサセ
舊宮コウミヤ 桓

武紀田村タケノキタムラ ○佐伯今毛サヘキノスサキイマケ

人ヒト 統紀佐トウキササ ○大伴益立オホトモノタケノタテ

伯宿祢オホトモノスサキ ○都賀ツガノ

郡コホリ ○大後オホノシラヒ ○出羽志イデハノシ

波村ハムラ ○膽澤イサハ ○與郡オクノコホリ

考證本居翁云陸奥國黒川郡以北為與郡見三代格大同五年二月廿二日官符

○小野石根ヲノノアノイハネ 統紀統紀大

○大神未足オホミワノアツミズ 統紀統紀大

○藤原曹子フヂハラノアツミ 統紀統紀大

○藤原是公フヂハラノアツミ ○藤原フヂハラノアツミ

是人コレヒト ○廣瀬龍田ヒロセノリウテン 社

○高元度 ○孫興進

並音フヂハラノアツミ ○藤原田麻呂フヂハラノアツミ ○

覺驚城 ○上治郡並訓

未詳 ○伊治咎麻呂イナキヒアザマロ 統紀統紀大

伊治イナキ 公 ○紀古佐美キコサノミ 統紀統紀大

○大伴真綱オホトモノマコツナ ○安倍アノベ

家麻呂ヤカマロ ○鈴鹿關スツカノセキ ○

越智靜養女ヲチノシヅカノメ 訓未詳 ○藤フヂ

原シラノ 小黒麻呂コクロマロ ○苦田クマダ

郡 ○廣岡山陵ヒロオカノヤマノミナト ○田タ

原陵シラノミナト

桓武天皇

○山部ヤマベ ○裨田親王ヒエタノミコ

○早良親王サライノミコ ○富士フジ

山ヤ ○尺度池サカドノイケ 考證云清寧紀諸陵式並

作坂ヒカミノマエトカハ ○氷上川ヒカミノカハ 繼ヒカミノカハ 統紀氷上真人

○伊豆三嶋社 ○山ヤマ

上ウヘ 船主フナナシ 統紀山上朝臣 ○雜色

音ネ 匠手テヒト ○木工モク ○

内藏ウチソウ ○藤原乙牟漏フヂハラノオトムロ

統紀藤原夫人即此人 ○雄勝平ヲカッヒラ

鹿カ 二郡フタノホリ ○交野カタノ ○文フム

屋與企ヤマヒトヨキ 統紀文室真人 文屋又作文室 ○

難波市ナニハノイチ ○藤原種繼フヂハラノタネツグ

○山背乙訓郡長岡ヤマシロノオトクツホリナカノカノ

村ムラ ○紀船守キノフナノモリ 統紀朝臣 紀氏著姓以

下不書カモノオホカミノヤシロ ○加茂大神社カモノオホカミノヤシロ

○山崎橋ヤマサキノシ ○河内茨カハチノマム

田郡タノコホリ ○蒲原郡カムハラノコホリ ○三

宅ヤチノムラシカサヲマ 笠雄麻呂カサヲマ 統紀三宅連 ○

白髮部シラガバ ○真髮部マカミバ ○

山代ヤマシロ 姓 ○大伴繼人オホトモノスネツグヒト

○朝原内親王アサハラノヒメノミコ ○乙オト

訓寺グニテラ ○山科ヤマシナ ○田原タハラ

○後佐保陵ノチノサホノミヤキ ○三國ミクニ

廣見ヒロミ 統紀三國真人 ○栢原カシハラ ○

安殿親王アテノミコ ○佐伯葛サヘキノクサ

城キ ○紀勝長キリノアツシカチチカ 統紀作統紀作 輝長輝長 ○

多治比字美タヂヒラマヒトウミ 統紀多治統紀多治 比真人比真人

○陸奥多賀城ミチノクノタガノキ ○大オホ

隅曾乃峯スミソノノミナ 統紀大隅國贈統紀大隅國贈 於郡曾乃峯本於郡曾乃峯本

居翁云古事記高千穂之久士居翁云古事記高千穂之久士 布流多氣是也布流多氣是也 按曾乃峯當作按曾乃峯當作

贈於峯又襲峯曾乃峯者贈於峯又襲峯曾乃峯者 ○
古語非漢文之例也

比江ヒエ 今比今比 ○池田真枝イケタノアツシマヒラ

統紀池田朝臣統紀池田朝臣 ○安信黑繩アベノオミスミナハ 統紀統紀

安倍孫嶋臣墨安倍孫嶋臣墨 ○神今食シムゴムツキ 繩史作黑者謬繩史作黑者謬 カムイマケ

○相嘗幣帛アヒマベノミテグシ ○道守チモリノオミ

東人アツマト 統紀道守統紀道守 ○新嘗ニヒナベ ○

豌豆瘡モガサ 統紀作坑豆瘡統紀作坑豆瘡 注俗云裳瘡注俗云裳瘡 ○

百濟俊哲クマラノ 名音名音 ○坂上サカノ

田村麻呂オホスラネタムラマロ 統紀坂上統紀坂上 ○大宿祢大宿祢

藤原真鷲フヂハラノマコワシ ○文室大フミヤノミヒトオホ

原ハラ 統紀文室真人統紀文室真人 ○大伴弟麻オホトモスラクネオトマ

呂ロ ○神王ミコノオホミ ○巨勢野ヨセノ

足タリ 統紀臣統紀臣 ○鷹戶タカバ ○大オホ

中臣諸魚ナカトミノアツシミエロナ 統紀大中統紀大中 ○
臣朝臣臣朝臣

漢神カラノカミ ○登勒野トログクノ ○水ミ

生野アノ ○大原野オホハラ ○栗クリ

前野ノマ○藤原乙畝フヂハラノアヲミオト○

葛野川カドノカハ○葛葉野カスハ○

石作丘イハツクリノヲカ○葛野郡宇カドノコホリウ

太村タムラ○伊豫親王イヨノミコ○

馬埒殿ウチト○相撲スフヒ○深フカ

草王クサノオホキミ逸史四逸史四○栗倉野クリクラノ

○瑞野ミヅノ○岡屋野ヲカヤノ○

山階田原山陵ヤマノシナノタハラノミナト○康カク

樂野ラクノ逸史康逸史康○山階野ヤマノシナノ

○平野社ヒラノヤシロ○上毛野カミツケノ

兄國エクニ○佐比津サヒツ○大オホ

堰ヰ○北野キタノ○柏原野カシハラノ

○紫野ムラサキノ○栗栖野クリス○

芥川野セリカハ○吉備魚主キビノアサミウラヌシ

統紀吉統紀吉○阿蘇山神靈アソヤマノカミ

池イケ逸史肥後國阿蘇郡山逸史肥後國阿蘇郡山○

藤原雄友フヂハラノヲトモ○菅野真スガノマコト

道ミチ逸史菅逸史菅○藤原内麻フヂハラノアソミウチマ

呂ロ○布施内親王セツビメノミコ○

的野マツノ○陶野スエノ○日野ヒノ

○大伴峯麻呂オホトモノスクネノマロ○西ニシ

野ノ○五百井女王イホノヒメノミコ○

太子早良ヒシギノミコサヲ○崇道天スダウ

皇ミコ○紀勝長山階宅キノアツミカツナカノヤマンナノイ

○神樂岡カクラノ○藤原葛フジハラノミカト

野麻呂マロ○石川道益イシカハノアツミミチマス

逸史石逸史石○神泉苑音読○
川朝臣川朝臣

蝦夷酋大墓公阿氏エソノヲサオホハカノキミア

利為リヲ○磐具公母禮イハクノキミノモ

○志賀可樂崎シカノカラサキ○梅ウツ

原宮ハラミヤ○長倉王ナカクラノオホキミ○多タ

藪嶋ヤブシマ○愛宕別業オタギノナリトコロ○
フクダゴ

栢野カシノ○大德親王訓未詳

○遠江蒲生野トホツアノミカマフ 遠疑近之誤遠

江未聞有江未聞有○陸奥小田ミチノクノヲタ

浦生野浦生野○石上社イソノカミノヤシロ○大伴オホトモ

岑萬里スツキミネマリ○惠美原エミハラ 後紀

和泉和泉○城野キ○垣日野カキタ

後紀作垣後紀作垣○藺生野キオヒ○
田野是

日根野ヒネ○玉土嶋タマツシマ 後紀

及逸史作及逸史作○日根行宮ヒネノカリミヤ

玉出島是玉出島是○熊取野クマトリ○紀伊伊チ

都郡ツノホリ○僧寂澄音読○

日本根子皇統彌照ヤマトネコスベラヒイチャテリ

尊ミコト○栢原陵カシハシラノミヤキ○栢原カシハシラ

天皇スメラミコト

平城天皇

○安殿アテ○小殿コトノ○大

行天皇音読○木蓮子イタヒコ

○神野親王カミノノミコ○藤原フジウラ

園人ソノヒト○藤原帶子フジウラノオビシ○

伊福部淨主イフクベノキヨヌシ○大原オホハラ

内親王ウチノミコ○丹後加佐タニノミチノカサ

郡コホリ○香推宮カシヒノミヤ○調田チウテン

庭繼ニツク逸史作調田送庭類聚
國史作調田造庭繼今

從ツグ○安倍兄雄アヘノアノミ延表阿
爾表從

執乎ツク○秋篠安人アキシノアノミヤスヒト逸史秋
篠朝臣

○齋部廣成イムベノスラノヒロナリ齋部
宿祢

大田親王オホタノミコ○安倍真アヘノアノミマ

直ナホ○出雲廣貞イツモノスラノヒロサダ後紀出
雲宿祢

○藤原藥子フヂハラノアノミクスリコ○藤原フジウラノアノミ

冬嗣フユツグ○紀田上キノアノミタカミ○添ソツラ

上郡越田邑カミノコホリノコシノムラ○阿倍アノミ

清繼キヨツグ○百濟愛笠ヒヤクサイノアイカサ音
読

○登美藤津トミノマヒトフヂツ後紀登
美真人

紀南麻呂キナマロ ○藤原真フジウラマ

雄ヲ ○僧空海 ○淳和

帝垂音 ○太上天皇音

○日本根子天排國ヤマトネコ アメヒラキクニ

高彦尊タカヒコノミコト ○揚梅陵ヤマエノミヤギ

嵯峨天皇

○神野カミノ 逸史作逸史作 ○高兵タカヒコ

親王ミコ 兵岳之誤 ○松尾マツノ ○鴨カモ

御祖ミオヤ 別雷ワケイカ 等社ツチノヤシロ ○高タカ

津内親王ツノヒメ ○橘嘉智タチバナカチ

子コ 逸史橘朝臣 ○多治比高タヂヒノマヒト

子コ 逸史多治比真人 ○仁子親

王ミコ 訓未詳 ○藤原真夏フジウラマ

田口息繼タグチノクシ 逸史田口朝臣 ○藤フジ

原貞本フジウラマ 逸史貞作真 ○攝津ツツ

豐嶋トヨシマ 為奈等野ホナノ ○藏クラ

人所ヒトトコロ ○藤原藤嗣フジウラマフナツク

安倍真勝アベノ ○高畠陵タカハタキセキ

○藤原緒嗣フジウラマ ○上毛カミツチ

野穎人アノミナヒト 後紀上毛野朝臣 ○文ム

室綿麻呂ヤフツミマロ 後紀文室朝臣 ○宇ウ

治山崎與渡市津○

松崎川○有智子内

親王○大伴今人○

佐伯耳麻呂後紀佐伯宿祢○

坂上鷹養後紀坂上大宿祢○

林東人後紀林宿祢○紀廣後紀

濱○多人長後紀多朝臣○

長柄橋○肥前小近ナカラノハシ

嶋逸史作省近嶋○櫛原野○

皇子信○弘○常○

明○皇女貞姬○潔ササヒメ

姬○全姬○善姬○

意宇出雲神門○鴨オウイツヒカノト

川○滋賀韓崎○藤カハシガカラサキ

原緒夏○萬多親王ハラアツミラソツ

○小野石子フノノアツミイハコ逸史小野朝臣○

勇山文繼ユヤマノムラシメ逸史勇山連○羅

城門音読○高野山○

室生山○貴布祢○

室生山龍穴ムロフヤマノ逸史大和國室生山龍穴

龍穴二龍穴ニ○坂本親王○字音読

藤原吉子○高市郡フジハラノアツシヨシコ

泉池イハシノイ ○河陽宮カヤノミヤ ○中

源 ○庾信 ○永繼並音 詭

○越前エマカガノ江沼エマカガノ加賀カガノ二フタ

郡フネリ ○正良マサヲノ親王ミコ ○藤フジ

原ハラ三守ミモリ ○清原キヨハラ夏野ナツノ

後紀清
原真人

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

明治八年十月卅一日

版權免許

明治九年四月一日
出版

千葉縣下第一大區
八小區佐原村

著者 伊能穎則

東京府下第一大區
日本橋通貳町目

出版人 稻田佐兵衛

定價金貳錢

